

薬用植物園かわらばん

いま、こんな草木も楽しめますよ！
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ…



2021年
7月12日
第118号



スイレン（スイレン科）

このかわら版掲示場所の右側の通用口から入ってすぐ左側の水槽内、水面に浮いた丸い葉から、美しいピンクが入った白い花が顔を出しています。スイレンという名称は、本来は在来種のヒツジグサを指す名称ですが、現在では外来種も含めて広くスイレン属を指す総称として使われています。写真のスイレンは、花の形からすると、ヒツジグサのようですが、少しピンクが入っているので断定は難しいです。外来種との交配で作られた園芸種も多いので、ここでは単にスイレンということでお許し願います。ヒツジグサの花は、同じ名の睡蓮（スイレン）という生薬となり、暑気あたり、酒酔い、小児けいれん発作に用いられます。野生のヒツジグサは、地域によっては絶滅危惧種に指定され、保護されています。

オニユリ（ユリ科）

温室の前で、大きさや色合いで存在感のある花が見られます。東アジア原産で、各地で鑑賞用に栽培される多年草です。蒸した鱗茎は食用にされ、天ぷらや茶わん蒸し、きんとんなどの食材としてお馴染みですね！花は橙色で花弁が反り、斑点があり、横向きに咲きます。葉は細長く、付け根にムカゴを付けます。この植物は果実は実らず、地下茎とムカゴで増えます。食用にもする蒸した鱗茎は、日本薬局方にも収載される生薬の百合（ビャクゴウ）となり、滋陰薬として用いられ、鎮咳、強壮、鎮静を目的として、辛夷清肺湯などの漢方処方に配合されています。

温室の中では**バナナ**の花も見られますよ！！